

埼玉県保健医療計画に基づく病床整備計画報告書

1 整備計画概要

医療機関名	入間ハート病院
所在地	埼玉県入間市小谷田 1 2 5 8 - 1
整備（増床）病床数	1 0 床
（医療機能別内訳）	地域包括ケア

2 開設年月：令和 8 年 5 月

3 病床整備による地域医療課題への対応目標

地域包括ケア病棟の機能を拡充し、急性期後の患者を円滑に受け入れる体制を強化することで、急性期医療機関の機能分化と役割分担を推進する。

在宅復帰支援、生活機能回復支援、レスパイト入院等の受け皿を確保し、地域包括ケアシステムの推進に寄与する。

高齢者における感染症重症化リスクの高まりを踏まえ、迅速診断（抗原検査等）および感染対策設備の整備を進めることで、院内感染防止と地域の感染症医療提供体制の強化を図る。

地域の医療需要に応じた適正な病床機能の確保と、切れ目のない医療提供体制の構築を目指す。

4 他医療機関・施設等との連携・協議状況

年月	相手方	連携・協議内容
令和 7 年 7 月	医療法人社団たすく ふく在宅クリニック	協力医療機関協定締結
令和 7 年 8 月	株式会社アズパートナーズ アズハイム入間	協力医療機関協定締結
令和 8 年 2 月	社会福祉法人入間福祉会 特別養護老人ホームおおぎ	協力医療機関協定締結
令和 8 年 2 月	社会福祉法人入間福祉会 特別養護老人ホーム扇揚苑	協力医療機関協定締結
令和 8 年 3 月	つむぎ歯科クリニック	医科・歯科連携協定締結

5 その他（地域での医療連携での取組、新型コロナウイルス感染症の影響など）

地域の急性期医療機関（防衛医科大学校病院、市内および隣接市急性期病院 等）との連携を強化し、入退院支援および後方支援に関する連携プロトコルを整備する。地域連携室および ICT ツールを活用し、紹介患者の受け入れ調整および医療情報の共有を標準化することで、急性期から回復期への円滑な移行を推進する。

在宅医療機関・訪問看護ステーションとの連携においては、退院前カンファレンスの定例化を図り、在宅復帰率の向上と在宅療養の継続性確保に努める。また、在宅療養者の急変時における受け入れ体制を整備し、地域の在宅医療を支える役割を果たす。

介護事業所・地域包括支援センターとの協働により、入退院時の情報共有体制を強化し、生活機能向上支援、認知症支援、多職種連携の推進を図る。

感染症発生時には、発熱外来・救急医療機関と連携し、迅速診断体制を活用した受け入れ調整を行うことで、地域全体の医療逼迫回避に寄与する。